

平成30年度 学力向上に向けた検証改善シート

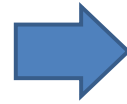
尾道市立

向東

小学校

1 課題

- ①課題解決に向けて自分の考えを持つことができにくい児童や、その考えを伝える手段が十分に身につけていない児童がいる。
- ②基礎学力が定着していない児童がいる。



2 めざす姿

- ①自力解決場面で自分の考えを書くことができる。
- ②単元末及び学期末テストにおける国語及び算数の通過率が、低学年85%、中学年80%、高学年75%である。

3 めざす姿に向けた取組の具体

1学期の取組

- ①授業において、「自分の考えを持たせるための手立てを工夫する。」
- ②レディネステスト・形成的評価を生かした教え直しサイクルの実施。
- ③基礎・基本の定着を図るためのぐんぐんタイムの実施。
- ④学習に向かう集中力と学習意欲の向上のためのステップタイムの実施。

検証

- ①8学級において研究授業を実施し、自力解決で自分の考えを書ける児童は70%であった。
- ②単元末及び学期末テストにおける国語及び算数の通過率が67%の児童が90.9%であった。
- ③各学年で週1回のぐんぐんタイムで、基礎・基本の定着を図った。
- ④全学級で実施内容を「音読・計算・フラッシュ」に統一し、計画的に実施した。

2学期の取組

- ①未実施8学級における研究授業を実施。
- ②漢字の小テストの実施
- ③算数科における習熟度別学習を実施。
- ④ぐんぐんタイムで、単元末テスト等で定着が不十分な内容を重点的に復習させる。
- ⑤ステップタイムにおいて、内容を充実させ、集中力と学習意欲を高める。
- ⑥単元末テストの通過率30%未満の児童への個別指導(毎週金曜日)

検証

3学期の取組

検証

4 取組の結果

1年生(12月)

教科	国語(基礎)	国語(活用)	算数(基礎)	算数(活用)
目標値 (対全国比%)	100	100	100	100
結果 (対全国比%)				

2年生(12月)

教科	国語(基礎)	国語(活用)	算数(基礎)	算数(活用)
目標値 (対全国比%)	105	105	105	105
結果 (対全国比%)				



H31年度 市学力調査目標値(対全国比%)

2年生	3年生	4年生
%	%	%

3年生(12月)

教科	国語(基礎)	国語(活用)	算数(基礎)	算数(活用)
目標値 (対全国比%)	100	105	100	100
結果 (対全国比%)				

4年生(12月)

教科	国語(基礎)	国語(活用)	算数(基礎)	算数(活用)	理科(基礎)	理科(活用)	社会(基礎)	社会(活用)
目標値 (対全国比%)	100	105	100	100	100	100	100	100
結果 (対全国比%)								

5年生「全国学力・学習状況調査プレテスト

教科	国語A	国語B	算数A	算数B
目標値 (対県比%)	100	100	100	100
結果 (対県比%)				

6年生 全国学力・学習状況調査(4月)

教科	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
目標値 (対県比%)	100	100	100	100	100
結果 (対県比%)	98.6	106.7	101.5	109.3	104.8



6年生 検証 1月

教科	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
目標値 (対県比%)					
取組の結果 (対県比%)					

市学力調査

全国学力